

一般質問

～11人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P9 平方 嗣世 議員

○ 渋川市の現実と将来像について

- 1 人口減少について
- 2 財政について
- 3 中長期的なビジョンについて

P9 星野 安久 議員

○ 公共施設等の適正な管理運営

- 1 公共施設の有効活用と廃止処分
- 2 市所有の観光施設の今後の管理、運営の見通し
- 3 廃止された道路敷・水路敷の取扱い

○ ゴミのポイ捨て防止条例制定の考えは

P10 田邊 寛治 議員

- 各事業における実績と課題について
○ 渋川再生の考え方

P10 中澤 広行 議員

○ 新市長に問う

- 1 財政問題
- 2 人口減少問題
- 3 施策の継続

P11 山崎 正男 議員

- 観光施策について
○ 路線バス運行経路の見直しを

P11 山内 崇仁 議員

- 渋川すこやかプラザの現状と今後について
○ 北部振興について

P12 細谷 浩 議員

○ これからの渋川市について

- 1 農業振興
- 2 にぎわい創出
- 3 生活環境整備

P12 加藤 幸子 議員

○ 高木市長の目指す市政について

- 1 人口減少対策について
- 2 子育て支援拡充について
- 3 安心・安全・暮らしやすい渋川について
- 4 公平・公正・責任ある市政とは

P13 角田 喜和 議員

- 学校給食関連について
○ 環境問題について
○ 市道金井大野線の改修及びスカイランドパーク駐車場整備について

P13 池田 祐輔 議員

- 防災・減災における行政の責務について
○ 市長の選挙公約について

P14 南雲 錢一 議員

- 第2次渋川市総合計画策定にあたり

一般質問の詳しい内容は会議録またはインターネット録画配信をご覧ください。

渋川市議会ホームページからご覧いただけます。



一般質問



平方 嗣世

渋川市の現実と将来像について

人口減少について

質問 人口減少対策基本方針が発表されてから3年。この間の市的人口推移について検証と対策を実施すべきと思うが考えは。

企画部長 この3年間で、人口は減少しています。人口減少対策に係る施策評価は、総合計画の総括とあわせて行いたいと思います。

元利償還額について

質問 借金には利息がつく。市債の返済ピークは平成32年度の約41億円であり、平成39年度まで38億円前後の返済が見込まれる。その後、この状態は何年続くのか。

総務部長 平成30年度以降毎年25億円を借り入れた場合、平成32年度の約41億円をピークに緩やかに減少します。減債基金の投入基準の35億円を超える償還は平成41年度まで見込まれます。

過疎対策

質問 新たに道路が開通すると、栄える地域、衰退する地域が必ず発生する。上信自動車道の開通が市に及ぼす影響を検討しているか。



渋川市の人口推計

職員の業務改善意欲

質問 業務提案について、PDC A、OJT等の手法を活用し、職員の能力、やる気を起こさせる充実した制度にすべき。その考えは。

企画部長 職員提案事業を充実し、職員の企画力・提案力を高め、職員の自由な発想による市民サービスの向上と、行財政改革の推進につなげていきます。

質問 小中学校の統廃合による廃校舎は、民間利用、地域への開放、あるいは学童保育に使うのか。効率的な利用計画はあるか。

総務部長 未利用財産については、平成27年度に策定した市有財産利活用基本方針に基づき、府内検討委員会で公益性や市場性など優先度の高い財産から、個別方針を定め、貸付けによる積極的な有効活用や売払処分を行いたいと考えます。

質問 市営のいくつかの温泉施設を民間譲渡する考え方のようだが、どのような見通しか。

商工観光部長 施設のあり方を検証する有識者会議の結果に基づき、市の方針を策定し、その方針に沿った取り組みを進めます。

公共施設の適正な管理運営を

地域にとつてよりどころの行政センターに空きスペースが目立つ。どのような利用を図るのか。

企画部長 空きスペースについては、市他の施設の移転や関係団体等への貸出しを含めて、活用策を検討しているところです。

質問 小中学校の統廃合による廃校舎は、民間利用、地域への開放、あるいは学童保育に使うのか。効率的な利用計画はあるか。

建設部長 市民からの払下げ申し出により機能損失や埋設物等の確認を行った上で対応しています。

質問 ポイ捨て防止条例を制定しても、渋川の町を守るために、ポイ捨て防止条例制度の考えは。

建設部長 環境づくりのため、マナー啓発の推進を行い、あわせて条例制定についても、実効性などを先進自治体を参考に研究します。



有効利用が望まれる廃校舎



星野 安久

一般質問



新市長、渋川再生の考え方

質問 新市政への決意と渋川の未来像は。

市長 県内12市で最大の人口減少率と一人当たりの借金額という課題を克服し、渋川を元気にしたい。

質問 教育現場の現状、教育予算、教員の負担軽減。

教育部長 教育現場の現状では、学校訪問や県協議会等から、教職員の負担感をとらえています。

教育予算では、施設の老朽化対応に多くの費用を計上しています。教員の負担軽減では、時間外の労働時間や内容等を把握していきます。

質問 ゆとり教育の対応と教育の無償化。

教育長 ゆとり教育の対応では、本来の考え方を基に、知識偏重から自ら学び考える教育への転換を図っています。教育の無償化は、本市では次代を担う子どものために、教育の充実を目指しています。

質問 渋川医療センターに産科、小児科の設置をどう進めるか。

市長 医師の供給体制が整っていない現実があり、設置は難しいと

ころですが、設置に向け群馬大学等と話し合いたいと思います。

質問 (仮称) 東部学校給食共同調理場の凍結、中止の理由は。

市長 市が取り組んでいるそれぞれの事業をゼロベースで見直す中の一つとして、あらゆる観点から見直しを検討して行きます。

質問 渋川再生、行財政改革。

市長 健全な行財政運営など、子ども、孫たちに立派な暮らしの環境をつくり、引き継いでいくため、当面の課題への対応とともに、将来を見据えた市政運営を行いたい。



産科・小児科の設置が待たれる
渋川医療センター

財政問題

質問 危機的財政状況という認識であるが、いかなる点での見解か。

市長 地方財政は国の財政の中に組み込まれており、国の財政が危機的状況の中、指標を見ただけでは市の財政が健全とは言えません。

質問 高額な地方債残高の反面、

市長 高額な減債基金(内部留保)がある。将来世代負担にならぬよう計画的に起債をしている。見解は。

市長 地方債のピーク時に備え減債基金を有効に使い、その上で無駄な事業を廃止するなどして地方債残高を減らしたいと考えます。

質問 育児料の完全無料化には3億2000万円が必要という。国

の子育て支援の状況を注視しつつ、慎重な判断を求めるが。

市長 未来への投資として保育料無料化を実現したいと考えています。実施の場合は、国の動向等を踏まえて制度を考えていきます。

質問 資産(施設)の老朽化が喫緊の課題。今後も有利な起債を活用し克服すべきだが。

市長 有利な起債など使うべきものを使う一方で一般財源の確保が必要です。この両面から施設等の老朽化に対応したいと考えます。

質問 JR湘南新宿ラインの渋川駅乗り入れは、利用者の増員とともに自治体の財政負担が必要。列

新市長に問う



中澤 広行

車編成の方法やJR渋川駅以北の自治体との研究が不可欠だが。

市長 駅舎の改良など物理的な問題もありますが、まずは利用者を増やすため、北毛地域自治体と連携し鉄道利用者の増加を図ります。



乗り入れの可能性は？湘南新宿ライン

一般質問

建設部長

当該施設はファミリー

質問 渋川伊香保ＩＣのアナベルの花を毎年きれいに管理できないか。



渋川伊香保ＩＣ玄関口のアナベルです

観光施策について
質問 市の観光の玄関口はどうと考へているか。渋川伊香保ＩＣのアナベルの花を毎年きれいに管理できないか。

商工観光部長

渋川伊香保ＩＣとＪＲ渋川駅と考えます。また、上

信自動車道の開通に伴い、（仮称）下川島ＩＣを伊香保温泉の玄関口と位置づけ、誘客に努めます。

建設部長

中村自治会とNPO渋

川もののづくり協議会と協働し、ア
ジサイを観光客にＰＲできる場と
して適正な管理に取り組みます。

質問 ＪＲ渋川駅前バス停待合所
を改修して「しぶさん」の売場と
し活用できないか。

商工観光部長

店舗の広さや駅利

用者の待ち時間など、立地条件を
考慮し現在の位置とした経緯から、
既存の「しぶさん」の利用促進を
進めています。

質問 渋川スカイランドパークに
若者も楽しめるアトラクションの
建設を。



山崎 正男

観光施策について

向けとしてご利用いただいており、
大型アトラクションの導入は困難
であり、今後もリニューアルの中
で検討してみたいと考えます。

路線バスの見直しをしてください

質問 路線バスの利便性を考えて、
地域の要望等をよく聞いて、市民
が利用しやすい運行形態に。

市民部長

利用者の利便性向上と
効率的な運行を目指して、運行時
間や運行本数の調整、路線の見直
しなどを含め検討し、新たな運行
方法についても調査研究し、効果
的なバス運行を目指していきます。

質問 未就学児と小学生を連れて

来場した親子、小学生同士で来場

した場合のキッズランドの対応は。

保健福祉部長

当施設は未就学児

を対象としていますが、支障のな

い範囲内で保護者に見守りいただ

きながら利用いただいている。

質問 金井の産業道路沿いのパチ

ンコ店が撤退し、広大な敷地が更

地となっているが、「新産業ゾー

ン」として企業誘致できないか。

商工観光部長

適地と考えます。

関係機関と連携し積極的に誘致を

進め、北部開発、人口減少対策に

結びつけていきたいと考えます。

質問 3階の利用予定はどうなつ
ているのか。発達障害児等が利用
できるスペースを設けることがで
きないか。

保健福祉部長

3階の利活用は現

在決まっていませんが、今後、関

係部署と連携し検討します。そ

の中で発達障害児等の利用について

もあわせて検討します。



山内 崇仁

渋川すこやかプラザの 現状と今後について

質問 上信自動車道の整備が進ん
でおり、金島地区に3つのランプ



関係機関との連携が期待される
渋川すこやかプラザ

が計画されているが、アクセス道
路の整備はどのように進めるのか。
建設部長 3つのランプのうち、
(仮称) 下川島インターのアクセ
ス道路となっている市道折原川島
線は道路整備を計画しています。

質問 金井の産業道路沿いのパチ

ンコ店が撤退し、広大な敷地が更

地となっているが、「新産業ゾー

ン」として企業誘致できないか。

商工観光部長

適地と考えます。

関係機関と連携し積極的に誘致を

進め、北部開発、人口減少対策に

結びつけていきたいと考えます。

一般質問



細谷 浩

どうする? これからの渋川

農業振興計画

質問 選別農薬農法（しぶせん）の登録制度が4年目を迎えたが、安定した増産、流通にどう取り組むのか。

農政部長 学校給食の利用や直売所での販売等により地産地消を進めるとともに、農法の普及や登録者と生産量の増加を図り、消費流通の拡大に取り組みます。

質問 市長の施政方針の中に「農業振興計画」を策定するが、市長の考える渋川の農業未来像はどのようなものか。

市長 市内では様々な農業の形態が展開されており、農業都市と言えます。この多様性のある農業をしっかりと伸ばして、産業としての強い農業を考えています。

にぎわい創出

質問 「新産業ゾーン」をつくり企業誘致があるが、有馬企業団地の拡張の可能性と従業員駐車場の整備計画は。

商工観光部長 産業団地の造成は人口減少対策に有効と考えます。



供用開始が待たれるデマンドバス



加藤 幸子

公平・公正・責任ある
市政の実現を

有馬企業団地拡張に限らず事業化

には様々な調整が必要となります。駐車場確保については、関係部門で協議中です。

生活環境整備

質問 南部地域に高齢者が利用しやすい交通手段の整備が求められている。デマンドバスや乗合タクシー等の早急な整備を期待するが。

市長 公共交通機関のあり方も含めて関係機関や地域の人たちに意見を聞き、早急に具体化していくたいと考えます。

質問 市民は、市長公約である「公平・公正・責任」の市政を望んでいます。今後の市政運営と人口減少に関する増田レポートへの見解を市長に問う。

市長 法令を遵守して市政運営に当たり、その結果責任は市長が負うというのが私の基本的な理念です。市長を本部長とする人口減少対策本部を速やかに設置し、各種取組を効果的に推進していきたい。

質問 少子化は避けがたい「自然現象」ではなく、政策的に生み出された社会問題。結婚・子育てのできる環境整備が必要。市でも臨時職員の生活が保障されることが大事と思うが市長の考えは。

市長 労働環境に関しては、各労働者がしっかりと労働に見合った給与所得を得られるような環境ができるいくことを私も願っています。

要望はできるだけ地域の中で、スピー・デイーに細やかな対応が行える体制づくりが必要だと考えます。保健福祉部長 母子家庭等の保育料減免は、現在6つのクラブで行なわれていますが、ひとり親世帯の支援については、財源の問題も含めて今後検討して行きたい。

質問 学童保育所は、保護者の保育料と市助成金で運営。預けたくても保育料が高く、預けられない母子家庭等の保育料の減額。誰もが預けられる保育料設定を。

市長 分権と集中の中でも、地域の考え方。



未来に向かって走れ、子どもたち

一般質問

質問 渋川スカイランドパーク入り口の市道と第1、第3駐車場は、でこぼこのままだが改修計画は。また、地中の鉄鋼スラグは撤去すべきと考えるがどう処理するのか。

建設部長 市道は、土壤調査業務委託を発注し、駐車場については、個別契約の締結に向けて協議を行っています。また、鉄鋼スラグの撤去については、国・県・市で構成する第3回鉄鋼スラグに関する連絡会議で示された基本方針に従い対策を進めます。

質問 金井りんご園地南の産業廃棄物処分場の地下水が10年前から汚染されていることが新聞報道で明らかになつた。市として関係する法人に対策を講じるよう早急に申し入れする考えは。

市民部長 工事については、県の許可のもとに行われています。今回の産業廃棄物処分場については、渋川市内にある処分場なので、今後は県及び処分場設置者とも積極的に関わっていきたいと考えています。



角田 喜和

地下水汚染は深刻、

安全対策を急げ



小林製工運送・産廃処分場

質問 今後、企業誘致において特

質問 南部・北部学校給食調理場でのアレルギー対応食を進めるには人員不足や周知不足がある。校長会からは学識経験者等を入れた検討会の設置をとの話を聞いています。検討会を設置して、意見交換し、時間をかけて慎重に行うべきではないか。

教育部長 校長会や学校関係者等の意見を聞き、お互いに確認しながら検討し、十分理解を得た上で体制を整え、慎重に対応していくといふ考えです。

質問 一般家屋の耐震化工事もしくは簡易補強工事・耐震シェルターセットに補助を拡充する考えは。

建設部長 現在の耐震改修補助制度に加えて、建物の一部を減災化できる耐震シェルター等設置補助制度も検討していきます。

質問 弾道ミサイル飛来時に備えた避難訓練の必要性は。また、小中学校での指導は。

総務部長 市民が適切な対応をとれるよう、防災講座や防災訓練等、機会を捉えて周知します。

教育部長 小中学校では、Jアラート発令時の状況に応じた適切な行動について指導しています。

市長の施政方針



池田 祐輔

防災・減災における行政の責務



全国で統一される災害種別図記号標識（例）

に注力し取組んでいくポイントは。
質問 J.R.八木原駅周辺整備による南部地域の活性化が市発展のエンジンとなるよう全力を尽くします。公民館については地域の意見をよく伺い整備したいと考えます。

市長 J.R.八木原駅周辺整備による南部地域の活性化が市発展のエンジンとなるよう全力を尽くします。公民館については地域の意見をよく伺い整備したいと考えます。

商工観光部長 本市の優位性、周辺環境などを考慮し企業誘致していきたいと考えます。まず、既存の空き地や工場跡地を活用するようにしていきたいと考えます。

一般質問



南雲 錢一

第2次渋川市総合計画 策定にあたり

議会の用語を
解説します

【一般質問】

の独立と助成制度導入の考えは。

質問 渋川市総合計画には「地区の特性を活かしたまちづくり」があつたが、第2次渋川市総合計画（案）には見受けられない。その扱いはどうなるのか。

企画部長 第2次渋川市総合計画の策定に向けて開催した地区別懇談会において、今後の各地区のまちづくりについて多くのご意見があつきました。これらのご意見を踏まえ、現在、第2次総合計画の中にどのような形で反映していくか、調整作業を進めています。

市長の考えは。

市長 自治会を含め、地域の安心安全を守るために活動している団体等が、連携を行う必要があると考えます。そのためには、市がしっかりと協働していきます。

【専決処分】

本来、議会が決定することを、市長が代わって処分することです。専決処分が許されるケースとしては、

- ① 軽易な事項等であらかじめ専決処分が認められているもの。
- ② 解決に急を要する事項で、議会を招集する時間が場合など、法律の規定に基づくもの。

9月

議会人事

▽31日 丸山正三議員が市議会議員を辞職。

▽26日 今井五郎議員が予算常任委員長を辞任。入内島英明議員が予算常任委員長に就任。

議会往来

10月

▽16日 千葉県横芝光町議会が

視察来庁（学校給食費の完全無料化について）

▽25日 山口県美祢市議会が視察来庁（介護予防応援ポイント事業について）

▽27日 茨城県つくばみらい市議会が視察来庁（空き家対策計画について）

11月

▽6～8日 議会運営委員会が長崎県諫早市、大分県大分市へ行政視察